

MONOHO PROJECT



官公庁や企業の書類整理・電子化を柱に事業を展開する株式会社ネイビーズ・クリエイションは、補助事業を活用し最新型の3Dレーザースキャナを導入。大型の構造物や複雑な地形などを非接触で計測、データ化するシステムを確立した。1秒間に約100万点の3次元点座標を取得できるトップレベルの精度で、多様な用途への普及を目指す。

世界レベルの高精度3Dレーザースキャナで計測ビジネスの新たな可能性を拓く！

新規顧客を切り拓く
転機となった3Dスキャナ

3Dスキャナ計測事業に取り組むきっかけは、代表取締役、高橋満治氏の危機感だった。官公庁の膨大な紙の資料を整理しデータ化する仕事に長年取り組んできたが、電子化が進む中で事業規模が縮小していくことが予想された。そんな時、アメリカ製の3Dレーザースキャナ「FARO Focus 3D」と出会う。複雑な形状の構造物や地形なども短時間で正確に計測できる世界最高レベルの品質に惚れ込み、これを会社の新たな強みにしようと導入に踏み切った。しかし、機械を購入しただけでは強みにはなり得ない。これまで培ってきた情報処理技術を活かし、取得した計測データを顧客の望むかたちへと自在に編集する技術の構築に取り組んだ。

触ること無く高精度計測
合成処理で必要データに編集

3Dレーザースキャナとは、スキャナから照射されたレーザーを対象物にあてて空間位置情報を取得する計測方法で、調査対象に触れることなく高精度に計測できる。330メートル先の対象物まで測ることが可能だ。導入した機器はコンパクトで、計測する様子はカメラで対象物を撮影するイメージだ。1秒間に約100万点の3次元点座標を取得でき、データを合成して高精度なCADデータや3Dプリントデータとして編集できる。JR線にかかる跨線橋の計測では、10人工かかっていた計測作業を2人工に短縮できた。スキャンして得た膨大なデータを特殊なソフトで解析し、橋脚の各部位の長さや太さ、周りの構造物との距離など、顧客が望むあらゆる計測データを導き出す。

◀ 3次元点座標データの合成画面

早く、正確な「測る」技術
生み出す多様な市場

人が立ち入ることが出来ない災害現場の計測にも期待が高まる。北海道で2016年8月に発生した台風災害では、測量会社からの発注を受け河川災害状況を把握するため現地に出向き計測を行った。また、古い構造物や建築は図面が残っていない場合も多く、改修工事の際などには新たに図面を作らなければならない。そのための計測には相当の労力が必要だ。3Dレーザースキャナを使えば、計測にかかる手間とコストを大幅に削減でき、取得したデータを使って高精度な図面を作成できるため、重要文化財の改修工事にも役立つ。土木・建築関連はもちろん、イベント会場設営のための空間計測などのニーズも見えており、早く、正確に計測できる技術の確立は多様な市場を生み出しそうだ。

Interview

我が社の強み

過去の情報には
未来を動かす
エネルギーがある

代表取締役 高橋 満治 氏

情報活用の原点である「整理」からサポート

私達がこれまで最も得意としてきた仕事は、書類の整理と電子化です。官公庁のお客様が多いのですが、お客様ごとに社内でチームを作って庁舎などの現場に出向き紙の書類を整理していきます。一つの現場に何か月も入り込んで書類を分析して仕分けし、ラベルを貼り、ジャンルごとに並べ…というように整理していくんです。官公庁の仕事は多様で、蓄積されている紙資料は膨大です。職員さんの異動も頻繁です。過去の資料がどこにあるのかわかりにくくなる場合も多い。一方、今は官公庁も民間企業も「情報開示」が求められる時代です。いつでも必要な情報を簡単に取り出すことができ、有効に活用できる状況を維持し続ける必要があります。日々発生する資料の電子化が急務ですが、まずは過去の紙資料をしっかりと整理しなければ電子化に取り掛かることができません。そのスタートラインから情報管理をサポートします。

情報を整理するとエネルギーが生まれる

過去の情報は、未来に向かうエネルギーを生み出すと思っています。例えば会社の歴史を整理していくと「こういうところからスタートしたのに、今はこんな会社になれたのか」と気づきますよね。そうしたら100年後はこうなっていくだろう、もっとこうしていこう、という気持ちになる。震災の時に、被災現場から見つけた一枚の写真が残された人に生きる力をもたらすように、積み重ねてきた「過去」は私たちにエネルギーを与えてくれます。そう考えると、今会社の倉庫や書庫で積み重なりどこ

にあるのかもわからない書類が、100年後の子孫にとってとても大事な情報になるかもしれないんです。また、これまでの日本を築いてきた企業の過去の情報は、発展途上国にとっては指針となる宝です。そうした情報を整理し電子化することで新たなビジネスチャンスが生まれる可能性も大きいと思います。

自身のビジネスも「これまで」を最大限に活かす

3Dレーザースキャナ計測事業への挑戦には、これまで培ってきた実績や社員の経験を最大限に活かします。書類整理の仕事では土木関連のお客様が多いので、計測事業をご提案しやすい環境にあります。計測には高度な解析や編集技術に加え、土木や測量の知識も必要だったため新たな専門人材を採用しなければと考えました。しかし、これまで情報処理を担当してきた社員たちを中心に自ら資格取得にチャレンジするなど頑張ってくれています。一步踏み出してみると、自分たちから遠く離れた所にあると思っていたものが意外に近くにあるんだな、と感じています。今後は計測事業を大切な柱に育てあげ、いずれはアジアなど海外にも進出していきたいですね。



▲ 膨大な紙資料を整理・電子化

Vision

役に立ち続け、誇れる会社をつくりたい

とにかく役に立つ会社であり続けたいというのが強い思いです。社員やその子どもたちが誇れる会社を作りたいんです。これからも、過去の情報を整理することで日本のインフラ整備や会社の成長を陰ながら支えていきます。「測る」技術では新市場を積極的に開拓し、災害現場の復旧など安全な暮らしづくりの一端を担いたいと思っています。エネルギーを生み出す情報を守り、提供し続け「ネイビーズここにあり！」と言われる会社になることが夢ですね。

Company Data

株式会社ネイビーズ・クリエイション

☎ 011-207-7676

🌐 <http://navys.co.jp>

●所在地／〒060-0041 札幌市中央区大通東7丁目18番地2 EAST7ビル2階 ●FAX. / 011-207-7677 ●設立 / 1989年2月10日 ●代表者 / 代表取締役 高橋 満治 ●資本金 / 2,000万円 ●事業内容 / 3次元計測事業、書類整理・電子化・システム作成、イベント企画、コンサルティング事業